

第3学年 「国語」

1 学習の目標

- 自分の考えを、目的や場面に応じて話したり聞いたりできるようにしよう。
- 自分の考えを、しっかり書き表せるようにしよう。
- 様々な文章を読んで、内容をしっかりつかめるようにしよう。

【知識・技能】

- 社会生活に必要な国語について、その特質を理解し、適切に使うことができる。

【思考・判断・表現】

- 「話すこと・聞くこと」「書くこと」「読むこと」の各領域において、社会生活における人との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり、深めたりすることができる。

【主体的に学習に取り組む態度】

- 言葉を通じて積極的に人と関わったり、思いや考えを深めたりしながら、言葉が持つ価値を認識しようとしているとともに、言語感覚を豊かにし、言葉を適切に使おうとすることができる。

2 評価の観点・方法

◇評価の観点

【知識・技能】

- 社会生活に必要な国語について、その特質を理解し、適切に使っている。

【思考・判断・表現】

- 「話すこと・聞くこと」「書くこと」「読むこと」の各領域において、社会生活における人との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり、深めたりしている。

【主体的に学習に取り組む態度】

- 言葉を通じて積極的に人と関わったり、思いや考えを深めたりしながら、言葉が持つ価値を認識するとともに、言語感覚を豊かにし、言葉を適切に使っている。

◆評価の方法

(1) 授業中の活動の評価

- 「話す」「聞く」「書く」「読む」学習活動を積極的かつ指示を理解し適切に行っているか。特に、国語に興味・関心をもち、意欲的に学習に取り組んでいるかどうかの評価。
 - ・授業時の発言内容、テーマに沿った口頭発表とその相互評価。
 - ・ノートへの発言内容の記録状況、予習や復習の取組

(2) 学習の成果及び提出物

- 授業で書いた作文や、使用したワークシート類からの評価
 - ・ノートやワークブック、ワークシートの取組

(3) 各種テストによる評価

- 点数化されたテストによる客観的評価。
 - ・定期テストならびにその前後に行われる漢字テスト。
 - ・単元で授業開始時に行う発表、質疑応答テスト

(4) その他

- ・硬筆、書きぞめの取組、書写技術、長期休業中の課題。

3 学習のポイント

- 文章の構成や展開、筆者の意図をとらえて読むことができるようにしましょう。
- 中学3年生教科書掲載の作品を平易な文章となめらかに音読することができるように、家庭学習で継続して音読練習をしましょう。
- 定や期テストの出題される程度のことについて、条件に合わせたり、伝えたい内容や自分の考えをしっかりと書き表せるようにしましょう。
- 主述の照応等、文法的に正しく、且つ誤字のない文章を書くことができるようにしましょう。
- 小学校学習漢字と中学校1・2年生教科書の新出漢字を正しく読み、書くことができるようにしましょう。筆順にもこだわり、問題集を活用して先に学習を進めましょう。

4 学習内容と学習のねらい

学期	学習内容	学習のねらい
1 学期	<ul style="list-style-type: none"> ◇世界は美しいと ◇握手 ◇[聞く]評価しながら聞く ◇学びて時に之を習ふ ◇「論語」から ◇情報処理のレッスン ◇文章の種類を選んで書こう ◇漢字1 熟語の読み方 ◇考えられた「物」を超えて ◇思考のレッスン ◇説得力のある構成を考えよう ◇文法への扉1 必要? ◇報道文を比較して読もう ◇俳句の可能性 ◇言葉を味わう ◇言葉を選ぼう ◇言葉1 和語・漢語・外来語 ◇読書を楽しむ ◇「私の一冊」を探しにいこう 	<ul style="list-style-type: none"> ○表現の特徴を生かしながら朗読し、作者の思いを捉えます。 ○登場人物の生き方や考え方を捉え、人間や社会について自分の意見を持ちます。 ○人間の生き方について、孔子の考え方を自分たちの生活と関連づけて考えます。 ○話す相手や目的を意識して、資料を活用したり、話し方を工夫したりします。 ○漢字二字の熟語の読み方について理解を深めます。 ○説明の順序や図の使い方に着目して、内容を捉えます。 ○文章の形態の特徴を知り、表現してみます。 ○文章の形態や素材を選び、紙面構成を工夫して書きます。 ○漢語・和語・外来語の性質や使われ方を理解します。 ○行書の特徴をとらえて文字の配置、字形を整えて書きます。 ○筆者のものの見方や感じ方、表現のしかたなどを読み味わいます。 ○言葉の性質について知り、より円滑なコミュニケーションが図れるように考えます。 ○文節、連文節の係り受け、意味のまとまり、呼応の副詞について理解します。 ○筆者の考えを読み取り、自分の考えを深めます。 ○語句や表現に着目して作品を読み、人間、社会、生命について考えます。 ○さまざまな種類の本を知り、読書習慣を身につけ、自己を向上させます。
2 学期	<ul style="list-style-type: none"> ◇挨拶 原爆の写真によせて ◇故郷 ◇聞き上手になろう ◇[推敲]論理の展開を考える ◇言葉2 慣用句・ことわざ・故事成語 ◇漢字2 漢字の造語力 ◇人工知能との未来 ◇人間と人工知能と創造性 ◇多角的に分析して書こう ◇[議論]話し合いを効果的に進める ◇合意形成に向けて話し合おう ◇初恋 ◇書きぞめ ◇和歌の世界 ◇古今和歌集 仮名序 ◇君待つと一万葉。古今・新古今 ◇夏草「おくのほそ道」から ◇文法への扉2 ◇ないの違いがわからない? 	<ul style="list-style-type: none"> ○詩に表現されている内容と、現代社会の状況を重ね合わせながら考えを深めます。 ○時代や社会の変化の中での、人と人との関わりについて考えを持ちます。 ○構成や内容に関わる点に着目して、首都湯が明確に伝わるよう文章を整えます。 ○一つ一つの話題に関する複数の文章を読み、ものの見方や考え方を広げます。 ○慣用句、ことわざ、故事成語の特徴や効果、働きを理解します。 ○翻訳語、新しい語の成り立ちについて理解します。 ○「古今和歌集 仮名序」を音読し、昔の人々の思いをとらえ、古文に読み慣れます。 ○和歌に表れた昔の人の心情や情景を読み取ります。 ○歴史的背景などを考えながら、作者のものの見方や感じ方を読み取ります。 ○社会生活の中から課題を見つけ、その解決に向けて説得力のある提案をします。 ○社説を比較して、文章の構成や展開、表現のしかたの違いや効果を考えます。 ○論理の展開や表現の仕方を工夫し、説得力のある提案ができるようにします。 ○行書の特徴をとらえて文字の配置、字形を整えて書きます。 ○助動詞と形容詞の「ない」の違いを見極めます。言葉の単位、文の組み立て、単語の分類等、文法の学習を総合的に行います。
3 学期	<ul style="list-style-type: none"> ◇誰かの代わりに ◇エルサルバドルの少女 ヘースース ◇三年間の歩みを振り返ろう ◇温かいスープ ◇わたしを束ねないで ◇漢字3 漢字のまとめ 	<ul style="list-style-type: none"> ○筆者の考えを表す語句や論理の展開に着目し、主張を捉えます。 ○言葉の響きやリズムを味わいながら朗読します。 ○ヘースースの生き方や考え方について、心引かれる部分を挙げて話し合います。 ○これからの自分の生き方・可能性について考えます。 ○常用漢字のまとめとして漢字の成り立ち、音訓、字義について理解し、適切に使えるようにします。